

変わるまちと景観

市民の熱い思いから生まれ変わっていく
そんな前進する長岡の景観を特集します



～操車場跡地が生まれ変わった次世代防災拠点～

長岡市民防災公園

中越大震災をきっかけに整備された「防災公園」は、見事な景観を形成しています。



緑花センター

緑花センターには、市民が育てた様々な花があり、心癒されます！

私たち世代が異なる3人の編集員が、「変わるまちと景観」をテーマに、ホットな景観にスポットをあて、取材しました。



市民編集員のみなさん



大震災の際には、仮設住宅が建っていました。



子育ての駅ぐんぐん



公園に隣接する消防庁舎

私たちの日々の生活を守ってくれます。感謝！

ちびっこたちが、広～い建物の中で、のびのび過ごしています。



編集員の内田です。色々な人たちと話すこと、文章を書くことが好きな自分にぴったりだと思い、今回、編集員に応募しました。32歳の僕が、表紙の長岡市民防災公園と、このページを紹介しています!!



レストラン『Bague (バグ)』では、自然の空気と、おいしい食べ物で幸せな気持ちになって、身も心も満腹にさせてくれます!!



～思い出が詰まった廃校を再生～
和島トワー・ル・モンド
100年の時をこえて

築85年の歴史をもつ廃校となった旧島田小学校の校舎をレストランやギャラリーなどの複合施設として再利用。障害のある方の就労支援事業でもあり、地域活性化の拠点となっています。

ここに注目!

旧校舎がレストランとして復活。工夫次第で建物の可能性が広がることを実感しました。



旧校舎の夜景は幻想的。昼は、山々に囲まれた景色も必見!



古き良き時代にタイムスリップしたいあなたにオススメ!



緑に囲まれた牧場。アルパカがお待ちかね。

中越大震災後、以前の活気を取り戻すため、平成21年に、アメリカ・コロラド州在住の方から贈られたアルパカを育てている牧場です。日本では珍しかったアルパカが山古志で注目されている点がユニーク!



かわいいアルパカ看板が、ぼくらを迎え入れてくれます。



アルパカ牧場でみんなの元気な笑顔に出会えて、とってもうれしいな♥



子どもと戯れるアルパカ。この風景もまた、間違いなく「景観」と呼べるでしょう!!

ここに注目!

愛くるしいアルパカと観光客が心温まる時間を過ごしている光景は、ここでしか観て感じるこのできない景観です!!

～人懐っこい復興応援の使者～

山古志アルパカ牧場

取材を終えて...

普段なかなか経験することのできない編集や取材の楽しさを肌で感じる事ができて、とても充実した時間を過ごすことができました。

(編集員 内田 傑)





フェニックス大橋越しに見る花火もまた美しいです。今後、長岡花火の新スポットになるでしょう。遠くに長生橋が見えます。

編集員の小出です。栃尾の山間部で生まれました。山登りが好きなので、普段は山や草花の写真を撮っています。62歳の私が、このページを紹介します。



～東へ西へ想いを運ぶ未来への架け橋～ フェニックス大橋

ニュータウンブリッジ構想から、40年近い歳月と、多くの人々の熱意が実り、ようやく完成が見えてきたフェニックス大橋。この橋の完成で東西交流のさらなる活性化が期待されます。

ここに注目!

信濃川と渋海川を一気にまたぐフェニックス大橋は、ダイナミックな景観を形成する長岡のシンボルとなるでしょう。



完成間近の橋下写真。東西をつなぐ力強さを感じます。



完成間近の橋上写真。このタイミングならではの爽快な景色を紹介します。

～兼統・お船の想いを花で結ぶ通り～ 与板・天地人通り

長岡～与板～寺泊を結んだ長岡鉄道の跡地が「天地人通り」として整備されました。南の兼統門から北のお船門まで続く約1.5kmの快適な遊歩道になっています。

休憩所やトイレも整備され、足元をLED照明が幻想的に照らします。



愛に関する花言葉を持つ花がたくさん咲いています。



「お船門」は、女性らしい丸みのある門構えです。

ここに注目!

花々に囲まれた通りを歩くだけで、心が温かくなる触れ合い景観が、そこにあります。



「兼統門」。柱の上の屋根が兜のように見え、兼統の勇姿を連想させます。



「愛」の文字を兜にかかげ、戦乱の世を生き抜いた与板ゆかりの名将直江兼統と妻お船の愛を表現した天地人通り。



取材を終えて...

良い景観は人の心を豊かにする、それはそこに関わった人々の想いが込められているからでしょう。私もこの情報紙編集を通じて、景観を大切にすることを学びました。

(編集員 小出 陽一)





編集員の五十嵐です。82歳になりました。
字を書くこと、絵を描くことが、子どものころから好きです。現役のころ、営業企画、会社誌などの分野で仕事をしました。こんな経験を活かしたいと思って応募しました。
このページは、私が紹介します！



街には、昔懐かしいネーミングの小路が多くあり、歩く楽しみを与えてくれます。



生まれ変わった栃尾の雁木が見られます！



城山の麓に形成されている雁木の街なみは、次世代に残したい「景観」です。

～多世代で残す歴史的風景～
栃尾・雁木通り

「雁木通り」は、栃尾の景観の代名詞となっています。私有地に私財で建築され、歩道に使われている雁木。住民と大学生との新しい雁木づくりの取組も行われています。



豪雪の中でこそ効果を発揮し、人々の生活を守っている雁木。

ここに注目!

地域に残る雁木を、住民と学生とのコラボレーションにより、毎年1棟ずつリニューアルしています。



～復興への活力の結集～
川口きずな館



中越大震災の震源地にほど近い川口運動公園内のゴルフ場跡地に、平成23年、当時のクラブハウス施設を再活用した震災メモリアル施設「川口きずな館」がオープンしました。地域内外から多くの人々が集まり、活動拠点となっています。



テラスから眺める山あり谷ありの地形は絵になります。

周辺の見どころ!



ここに注目!

きずな館の運営は、「NPO法人くらしサポート越後川口」が行っています。このきずな館を中心とした地域全体の魅力向上・活性化が期待されます。



川口小・中学校の児童・生徒が感謝と復興のメッセージを記した「震災碑」



運動公園内からは、越後三山が遠望できます。

取材を終えて...

スタッフ一同、終始本気で熱心に仕事ができ、楽しく、勉強になりました。今まで、見たこともない景観に驚いたこともしばしばです。特に、災害の悲惨を見ると、改めて人間の絆の大切さを痛感しました。

(編集員 五十嵐栄作)

